

## ごあいさつ

梅雨が明けて、今年も暑い夏が始まりました。厳しい日差しを避ける様に、日陰を探して道を歩く今日この頃です。皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

平成 19 年の暮れのことです。わたしたちは自立援助ホーム設立を模索していました。ある児童養護施設の園長を通して「子どもセンターてんぽ」の弁護士さんにお会いすることができ、活動を本格化することになりました。そして、月一回の活動を通して、多くの方々にご協力、ご支援をいただき、めでたく自立援助ホームの建物を建設するところまでこぎ着けました。

これはひとえに、皆様のご協力の賜です。設立準備会で意見をくださった方、基金に寄付してくださった方、わたしたちの活動を多くの人に広めてくださった方、募金箱を作成してくださった方、募金箱を置いてくれた紳士服のAOKIのご厚意・・・その他、わたしたちが知らないところで支援をしてくださった方々に、心より厚くお礼申し上げます。

もっと早く状況をご報告しなければならなかったのですが、忙しさにかまけてここまで来てしまいました。お詫び申し上げます。これからは、「みずきの下をかよう風」を定期的に発行して、進捗状況をお伝えしますので、未永くお付き合いくださいますよう、お願いいたします。

自立援助ホーム みずきの家 設立準備室：加藤さい・利明

2009年7月 創刊号

# みずきの下をかよう風

みずきの家 通信



## みずきの家 紹介 第一回

今回は、みずきの家が建設される場所をご紹介します。神奈川県西部、金太郎の故郷である南足柄市です。箱根登山鉄道大雄山線、和田河原駅から南に徒歩 13 分の場所にみずきの家は建設されます。広さは 74.3 坪（建物延べ面積）で、利用者の部屋（約 5 畳平均）が 6 室、リビングダイニング（約 17 畳）、スタッフルーム 1 室が 2 階にあります。1 階には相談室兼宿泊室、地域交流室（約 13 畳）、トイレ 2、浴室、洗濯室、その他に管理人室があります。詳細は図をご覧ください。（裏面）

みずきを家の西側は市街化調整区域で田んぼが広がっています。先日、あぜ道を歩いてみました。田んぼにタニシがたくさんいるではありませんか。つい子どもの頃のことを思い出しました。友達とバケツを持ってタニシ取りをしては、家に持って帰って母

親に煮てもらいおかずにしたものでした。昔のことを思い出しながら田んぼを西に歩くと狩川が流れています。川の両側に堤があり、北に歩けば「幸せ道」と名付けられた桜並木があります。来年の春が楽しみです。周囲には富士フィルムの工場や関連の工場が点在していますが、どうやらこの不況とカメラのデジタル化で以前ほどの活気はないようです。落ち着いた生活をするにはぴったりの場所かも・・・。

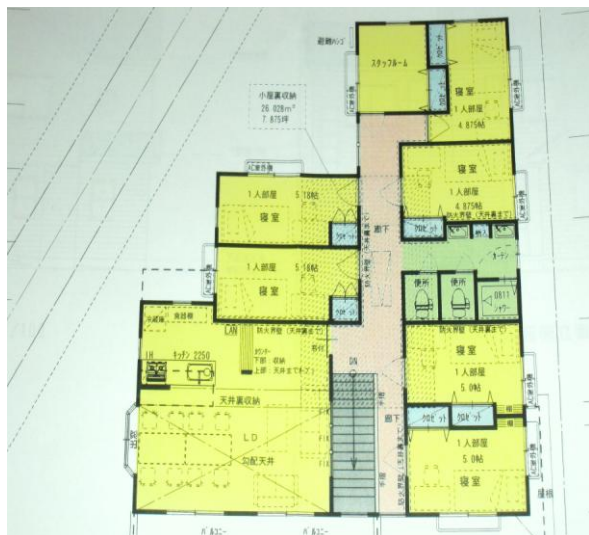
## お知らせ

ごあいさつの処で触れましたが、改めてお知らせをします。右の写真は、自立援助ホーム設立のための募金箱です。紳士服のAOKIのご協力で、神奈川県内の21店舗に右の募金箱を置いています。

そこで皆様にはお願いですが、もし紳士服のAOKIで買い物をしたらかえりかで結構です。募金をしてください。また、知り合いの方々に広報していただく等、ご協力をお願いします。

募金箱は次の店舗に置いてあります。

横浜港北総本店、平塚店、横須賀久里浜店、横浜金沢文庫店、横浜港南台店、海老名店、すみれが丘店、茅ヶ崎店、横浜片倉店、相模原淵野辺店、大和南店、津久井城山店、藤沢六会店、厚木林店、横浜山手台店、横浜大倉山店、橋本店、鎌倉店、古淵店、横浜綱島東店、溝口店（21店）



みずきの家 2階



みずきの家 1階

## 覚え書（編集にあたって）

みずきの家広報紙、創刊号を発行することができました。現在は、加藤さい・利明の二人で編集をしていますが、もし、ボランティアをしてくださる方がいましたら、ご協力いただきたいと思います。下記までご連絡ください。

〒257-0031 秦野市曾屋 5624-4 加藤さい・利明 TEL0463-84-1705  
2009年7月18日発行（創刊号）

（発行：NPO法人子どもセンターてんぽ・みずきの家設立準備会）